



Yokohama Arts Foundation

記者発表資料

平成31年1月24日
(公財)横浜市芸術文化振興財団
横浜市民ギャラリーあざみ野

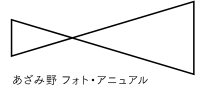
フォト・ヨコハマ2019 パートナーイベント

あざみ野フォト・アニュアル



企画展「長島有里枝展 知らない言葉の花の名前 記憶にない風景 わたしの指には読めない本」

ラディカルな挑戦を続ける写真家・長島有里枝による、待望の新作！



現代の写真表現を紹介するシリーズ「あざみ野フォト・アニュアル」平成30年度の企画展は、今最も注目される写真家のひとり、長島有里枝の個展を開催。本展の構想は、平成20年8月から平成21年7月にわたって文芸雑誌『群像』に連載され、同年に単行本化、平成27年に文庫化された長島の短編集『背中の記憶』（平成22年第26回講談社エッセイ賞受賞）を起点としています。今回、通読に応じてくださったある全盲の女性との対話から得たインスピレーション等をコンセプトの中心に据え、写真と文章との関係性を軸に、視覚に依らない記憶のありかたと写真の関わりを問う、新作のモノクロプリントやインスタレーション作品約40点を展示します。



シリーズ「本を感じる」より
From the series "Touch the book, Feel the stories" 2018

1 展覧会名

あざみ野フォト・アニュアル

「長島有里枝展 知らない言葉の花の名前 記憶にない風景 わたしの指には読めない本」

2 会期

平成31年1月26日(土)～2月24日(日) 10:00～18:00 ※1月28日(月)休館

3 会場

横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1

4 出品作家

長島有里枝 (ながしま・ゆりえ)

5 関連イベントほか ※詳細は添付チラシ、webサイト(<http://artazamino.jp/>)をご覧ください。

1/26(土)アーティスト・トーク、2/23(土)対談「言葉の力とその限界」、
視覚障がい者限定の鑑賞サポートを会期を通じて実施(音声ガイド等)

6 料金

入場無料

7 主催

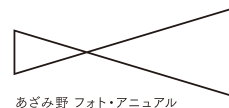
横浜市民ギャラリーあざみ野 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

※ぜひ当事業の取材、情報掲載をお願い申し上げます。
取材の際は、事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

横浜市民ギャラリーあざみ野 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】
館長 森井健太郎 担当 佐藤直子、日比谷安希子 TEL: 045-910-5656

知らない言葉の花の名前



記憶にない風景

わたしの指には読めない本



山、ルツェルン、スイス Mountains, Luzern, Switzerland, 2007

あざみ野
フォト・アニュアル

長島
有里枝
展

2019
1 / 26 _ 土
↓
2 / 24 _ 日

横浜市民
ギャラリー
あざみ野
展示室 1

開場時間
10:00 ~ 18:00

休館日
1月28日 [月]

入場無料



現代の写真表現を紹介するシリーズ「あざみ野フォト・アニュアル」2018年度の企画展は、長島有里枝の個展を開催します。本展の構想は、2008年8月から2009年7月にわたって文芸雑誌『群像』に連載され、2009年に単行本化された短編集『背中の記憶』を起点としています。四世代にわたる家族の記憶を丹念に拾い上げたこの自伝的作品では、自身の幼少時代の記憶を基にした物語が生き生きと語られ、随所でカメラのレンズがフォーカスを絞るように、写真的イメージを想起させます。

この展覧会は、『背中の記憶』の通読に応じてくださったある全盲の女性との対話から得たインスピレーション、長島が常常写真表現に感じているいくつかの疑問点等をコンセプトの中心に据え、近作や未発表作、インスタレーション作品により構成されます。「写真」と「テキスト」を従来とは異なる関係性において捉えようとする、長島初の意欲的な試みとなります。本展における「写真」と「テキスト」は、それぞれが補完しあうものとしてではなく、一つの契機を共有する、異なる自立した表現として立ち現れることでしょう。

長島有里枝 ながしま・ゆりえ 1973年、東京生まれ。1995年、武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業、1999年、カリフォルニア芸術大学ファインアート科写真専攻修士課程修了。1993年、「アーバナート #2」展でパルコ賞を受賞、2001年、第26回木村伊兵衛写真賞受賞。2010年には『背中の記憶』（講談社）で第26回講談社エッセイ賞を受賞した。アイデンティティや家族など、他者との関係性をテーマに写真作品を制作する一方、近年では女性のライフコースに焦点をあてたインスタレーション作品を発表している。



関連イベント

👉 アーティスト・トーク

日時 | 1/26_土 14:00~15:30
 出演 | 長島有里枝 (出品作家/写真家)
 ゲスト | 半田こづえ (本展協力者/美術鑑賞研究)
 会場 | 3階アトリエ
 定員 | 80名程度
 ※参加無料、要事前申込 (先着順)
 ※保育あり (詳細はお問合せください)

👉 対談「言葉の力とその限界」

日時 | 2/23_土 15:00~16:30
 出演 | 長島有里枝 (出品作家/写真家)、
 少年アヤ (エッセイスト)
 会場 | 3階アトリエ
 定員 | 80名程度
 ※参加無料、要事前申込 (先着順)
 ※保育あり (詳細はお問合せください)

🌟 イベントのお申込方法

- 「ホームページの申込みフォーム」「直接来館 (アートフォーラムあざみ野 2階事務室)」のいずれかでお申込みください。
- 複数のプログラムに参加ご希望の方は、お手数ですが別々にお申込みください。
 - 視覚に障がいがある方で、上記の方法でのお申込みが難しい場合はご相談ください。
 - 提供された個人情報は今回の事業実施のためだけに使用し、その他の目的で使用することはありません。

同時開催

平成30年度横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展「暗くて明るいカメラの部屋」Curated by 野村浩

👉 アートなピクニック—視覚に障がい

がある人となない人が共に楽しむ鑑賞会
 スタッフや参加者同士の会話を通して展示作品を楽しみながら鑑賞するツアーです。障がいの有無にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。
 日時 | 2/9_土 14:00~16:00
 会場 | 展示室 1
 定員 | 10名
 締切 | 2月1日 (金) 必着

※参加無料、要事前申込 (応募者多数の場合抽選)
 ※最寄のあざみ野駅までお迎えが必要な方は申込時にご相談ください。
 ※保育あり (詳細はお問合せください)

👉 学芸員によるギャラリートーク

日時 | 2/10_日 14:00~14:30
 会場 | 展示室 1
 ※参加無料、申込不要 (直接会場にお越しください)

🌟 お問い合わせ

横浜市民ギャラリーあざみ野
 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
 〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3
 アートフォーラムあざみ野内
 TEL 045-910-5656 FAX 045-910-5674
<http://artazamino.jp/>
 E-mail: info@artazamino.jp
 twitter: @artazamino

🌟 交通案内

東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩 5分
 横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩 5分
 駐車場 27台 (有料・予約制) TEL 045-914-5910
 ※詳細な地図や設備はこちらから
<http://artazamino.jp/barrierfree>



右 ● 築道、ルツヘルン、スイス
 Aerial Lift, Luzern, Switzerland, 2007
 左 ● シリーズ「木を感じぬ」
 From the series "Touch the stories" 2018
 下 ● 糸針付の植物 #24 Plants with labels #24, 2008